

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2023年 6月19日	
静岡市長 殿	
提出者	味の素エンジニアリング株式会社
住 所	東京都大田区蒲田5-13-23 TOKYUREIT蒲田ビル2階
氏 名	取締役執行役員 ソリューション事業本部長 油原 猛
電話番号	03-5480-5065
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	いなば食品株式会社第4新工場建設工事
事業場の所在地	静岡県静岡市清水区由比北田114-1
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D 建設業
② 事業の規模	完成工事高 153 百万円
③ 従業員数	6名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物の処理に関し収集運搬委託の契約を締結している。 ◆がれき、ガラス、陶磁器、廃プラスチック類(石綿含有物共) 破砕、溶融⇒再資源化 一部の石綿含有物等⇒埋立 ◆コンクリート、アス・コンがら類⇒破砕⇒再資源化 ◆汚泥類⇒脱水、固化⇒再資源化 ◆金属くず⇒再資源化



(日本工業規格 第4番)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

「SJ（ソリューション事業本部）」／「安全品質環境統括部」／「廃棄物担当者」の体制で管理を行っている。  
 運用としては、工事担当者による申請に基づき、廃棄物担当者が処理・集計を行う。  
 廃棄については電子マニフェストを採用し、工事担当者は排出時に立ち会うものとしている。

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（2022年度）実績】

産業廃棄物の種類

9種類

※種類ごとの前年度排出量は別紙のとおり

排 出 量

1029.872 t

t

(これまでに実施した取組)

新規建設工事を行ううえで適切に処理するよう指示している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類

9種類

※種類ごとの今年度排出量は別紙のとおり

排 出 量

1100 t

t

(今後実施する予定の取組)

現状を維持する。

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

種類：汚泥、廃プラスチック、木くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、他  
 該当する廃棄物に専用コンテナを配置するように指示している。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

現状を維持する。

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	該当なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
該当なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
該当なし			

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組）  該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）  該当なし		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	※種類ごとの前年度処理委託量は、別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	1 0 2 9 . 8 7 2 t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	0 t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	1 0 2 9 . 8 7 2 t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	0 t	t
	（これまでに実施した取組）  特になし		

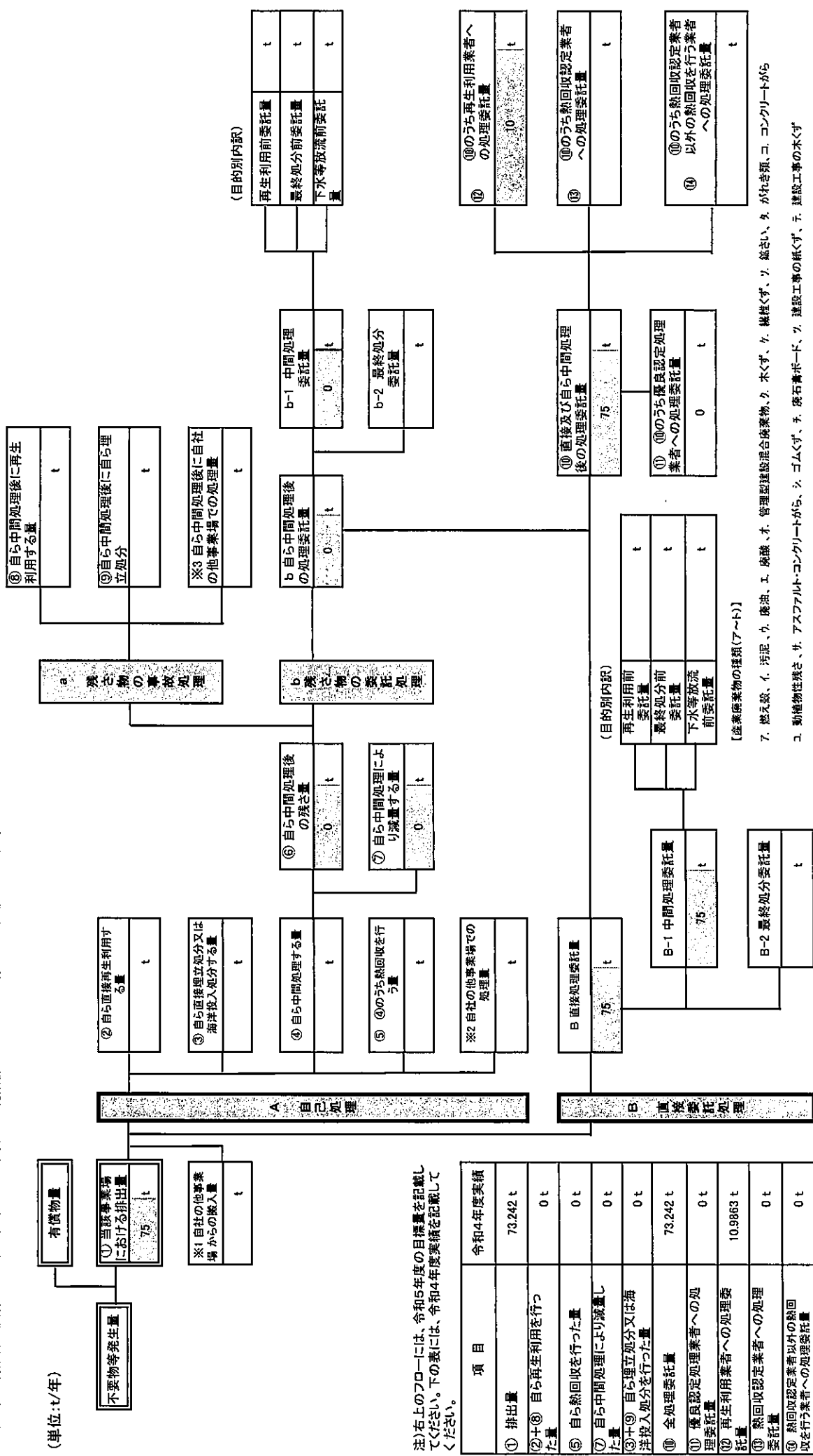
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	※種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	1 1 0 0 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1 1 0 0 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	現状を維持する		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙処理口一

※本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。



注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。

項 目	令和4年度実績
① 排出量	73,242 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0 t
③+⑨ 自ら運出処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩ 全処理委託量	73,242 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	10,986 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

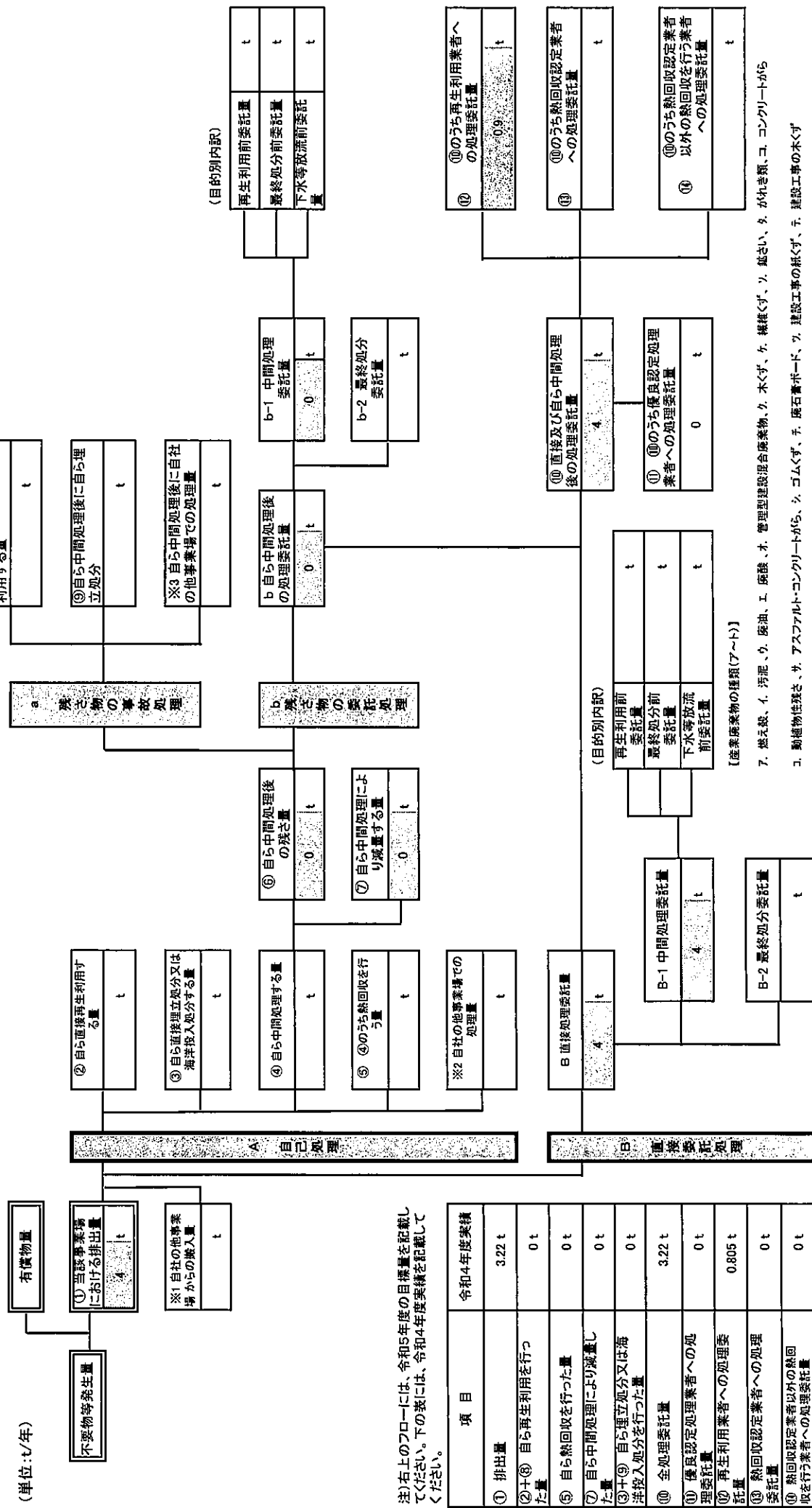
【産業廃棄物の種類(ア～ト)】

7. 燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃碱、管理型建設混合廃棄物、ク、木くず、ク、繊維くず、リ、錠さい、タ、がれき類、コ、コンクリートが  
ユ、動植物性廃さ、ガ、アスファルト・コンクリートが、シ、ゴムくず、チ、炭石膏ボード、ツ、建設工事の紐くず、テ、建設工事の木くず  
カ、廃プラスチック類、紐くず、ス、金属くず、セ、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、ト、混合廃棄物その他

別紙処理フロー

力、廃プラスチック	フローに記載した産業廃棄物の種類
-----------	------------------

(單位: t/年)



注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。

項 目	令和4年度実績
① 排出量	3.22 t
②+④ 自ら再生利用を行った量	0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0 t
③+⑤ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩ 全処理委託量	3.22 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.805 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

【産業廃棄物の種類(ア～ト)】

7. 燃え殻、イ. 汚泥、ウ. 廃油、エ. 廃酸、オ. 管理型建設混合廃棄物、ク. 木くず、ケ. 繊維くず、コ. コンクリートがら

コ. 動植物性残さ、サ. アスファルト・コンクリートから、シ. ゴムくず、チ. 廃石膏ボード、ツ. 建設工事の紙くず、テ. 建設工事の木くず

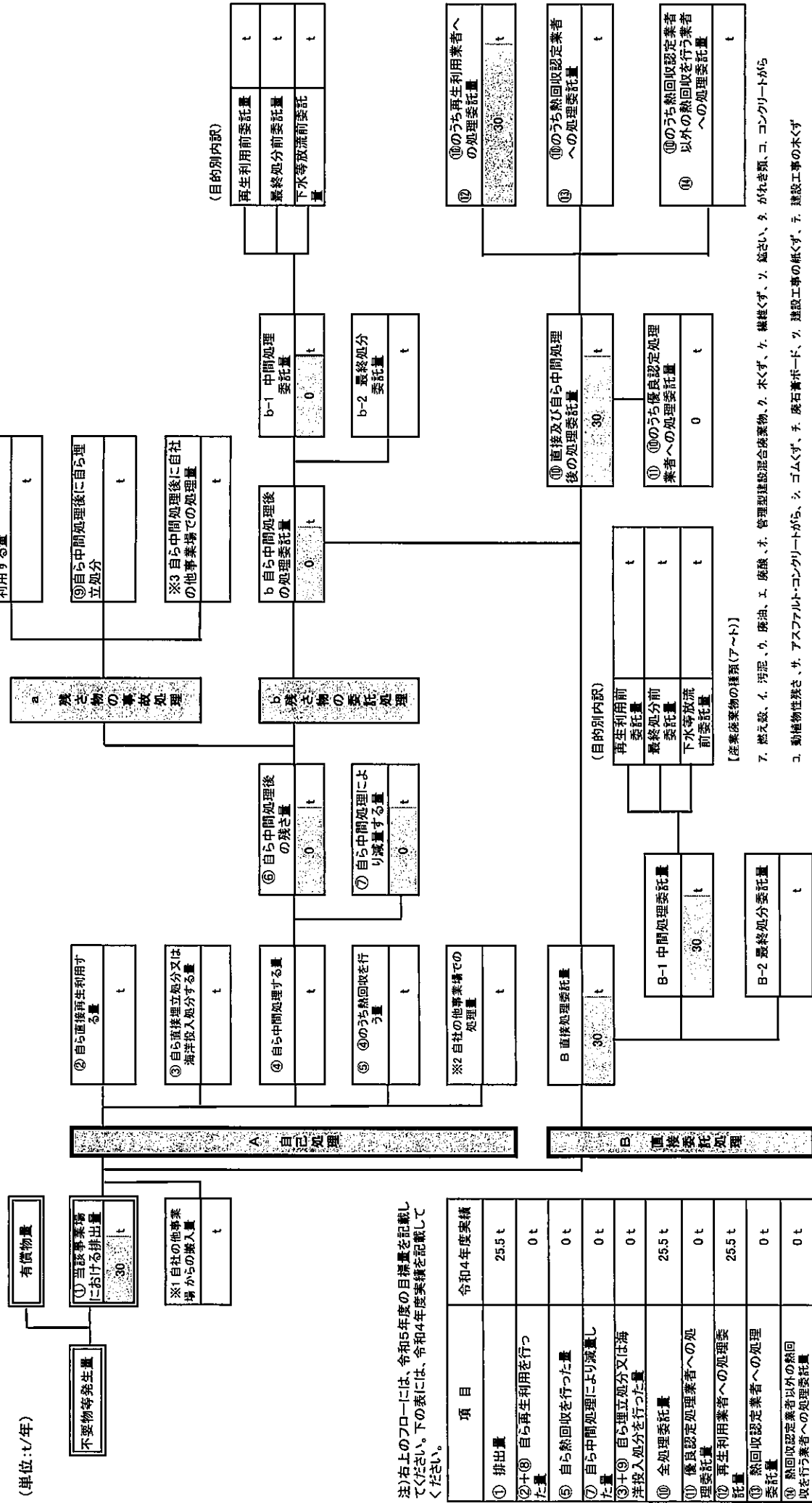
カ. 廃プラスチック類 キ. 紙くず ス. 金属くず セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず ト. 混合廃棄物その他



別紙処理フロー—  
令和5年度発生する産業廃棄物ことの目標量と処理計画

ク 木くず	フローに記載した産業 廃棄物の種類
-------	-------------------

(單位:t/年)



注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。

項目	令和4年度実績
① 排出量	25.5 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩ 全処理委託量	25.5 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	25.5 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

【産業廃棄物の種類(ア～ト)】

7. 燃え殻、イ. 汚泥、ウ. 廃油、エ. 廃酸、オ. 管理型建設混合廃棄物、ク. 木くず、ケ. 繊維くず、コ. コンクリートから

コ. 動植物性残さ、サ. アスファルト・コンクリートがら、シ. ゴムくず、チ. 廃石膏ボード、ツ. 建設工事の紙くず、テ. 建設工事の木くず

カ. 廃プラスチック類キ. 紙くずス. 金属くずセ. ガラス・コンクリート・陶磁器くずト. 混合廃棄物その他

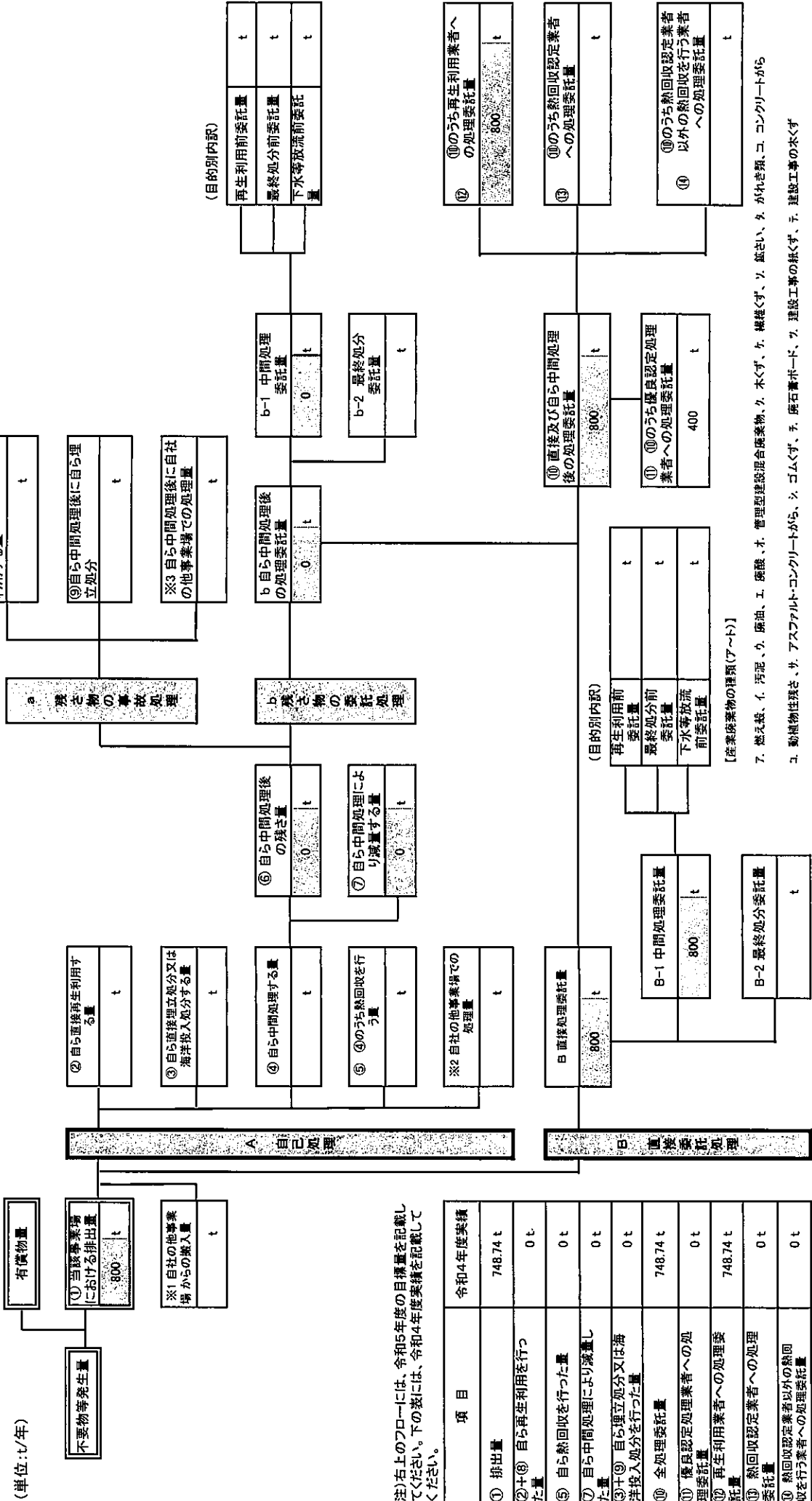
産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

事業場名称: 味の素エンジニアリング株式会社 いなば食品株式会社第4新工場建設工事

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。



注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。

項目	令和4年度実績
① 排出量	748.74 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0 t
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩ 全処理委託量	748.74 t
⑪ 廃品認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	748.74 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭ 熱回収を行う業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

別紙処理口一

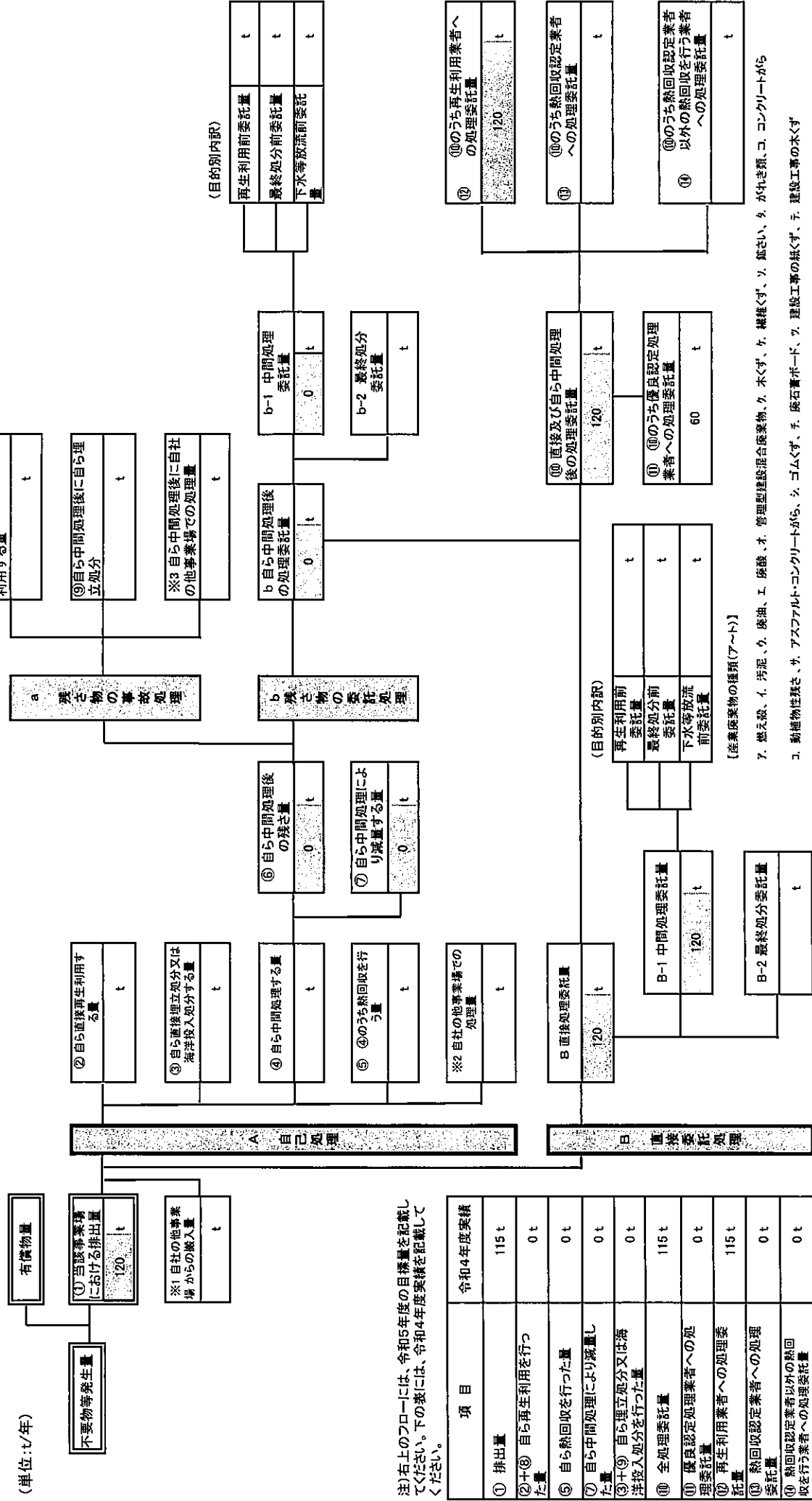
## 令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

事業場名称:味の素エンジニアリング株式会社 いなば食品株式会社第4工場建設工事

フローに記載した産業廃棄物の種類

※本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(單位:t/年)



注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。

項目	令和4年度実績
① 排出量	115 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0 t
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投投入処分を行った量	0 t
⑩ 全処理委託量	115 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	115 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

【産業廃棄物の種類(ア～ト)】

7. 燃え殻、イ. 汚泥、ウ. 廃油、エ. 廃酸、オ. 管理型建設混合廃棄物、ク. 木くず、ケ. 繊維くず、コ. コンクリートから

コ. 動植物性残さ、サ. アスファルト・コンクリートから、シ. ゴムくず、チ. 廃石膏ボード、ツ. 建設工事の紙くず、テ. 建設工事の木くず

カ. 廃プラスチック類 キ. 紙くず ス. 金属くず セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず ト. 混合廃棄物その他

## 産業廃棄物処理計画書

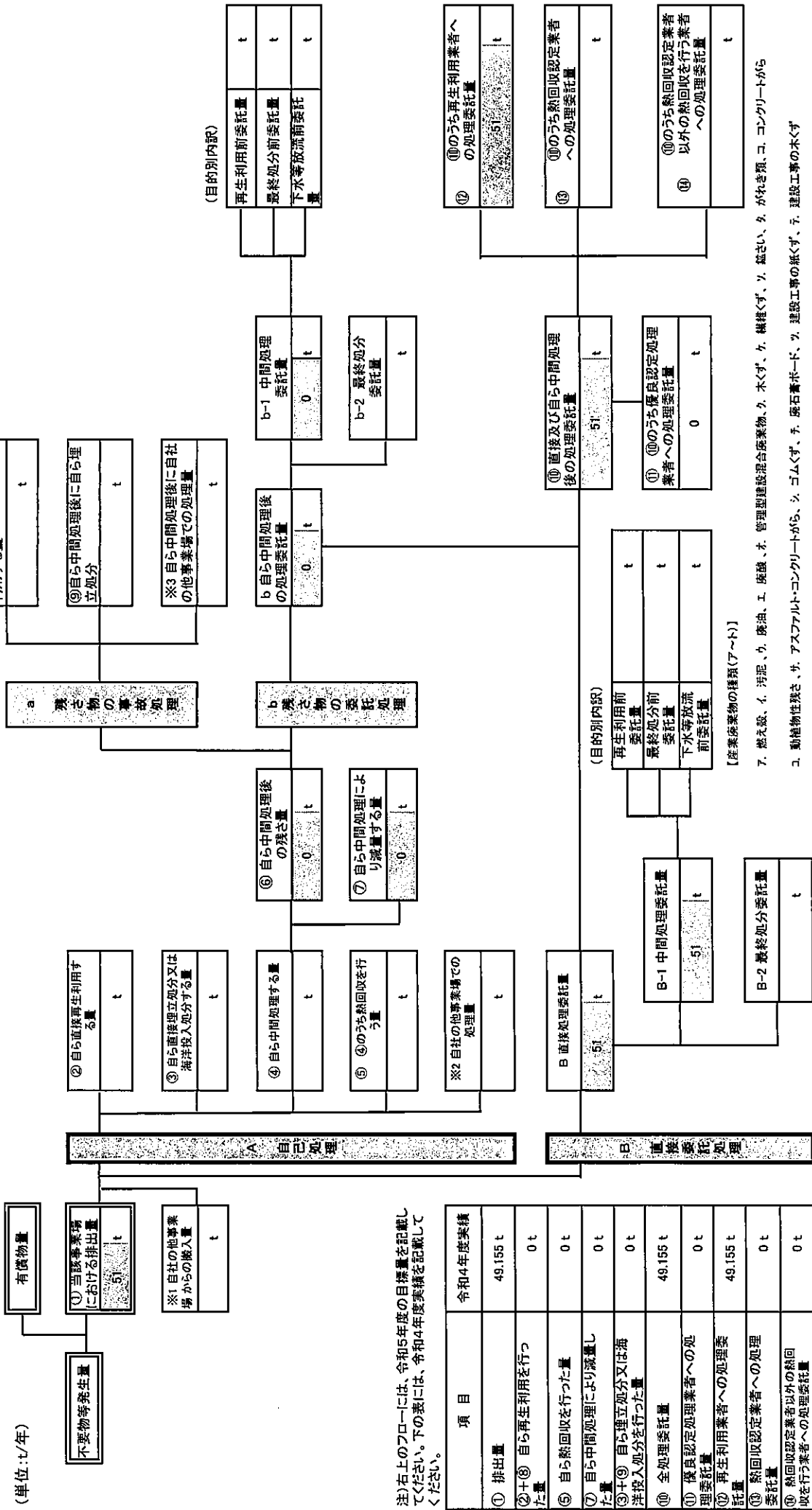
別紙処理口—

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

事業場名称:味の素エージニアリング株式会社 いなば食品株式会社 第4新工場建設工事

フロアに記載した産業廃棄物の種類

※本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。



注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。

項 目	令和4年度実績
① 排出量	49,155 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0 t
③+⑨ 自ら焼却処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩ 全処理委託量	49,155 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	49,155 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

【産業廃棄物の種類(ア～ト)】

- カ、アスファルト・コンクリートがら、シ、ゴムくず、チ、廃石膏ボード、リ、建設工事の紙くず、ニ、建設工事の木くず、動植物性残さ、サ、アスファルト・コンクリートがら、シ、ゴムくず、チ、廃石膏ボード、リ、建設工事の紙くず、ニ、建設工事の木くず、燃え殻、イ、汚泥、エ、廃油、エ、廃酸、オ、管理型建設混合廃棄物、ク、木くず、ケ、繊維くず、リ、紙さい、タ、がれき類、コ、コンクリートがら、廃プラマテリアル類、モ、紙くず、ス、金属くず、セ、ガラス・コンクリート・陶器類、ト、混合廃棄物その他

カ、廃プラスチック類、紙くず、ス、金属くず、セ、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、ト、混合廃棄物その他の

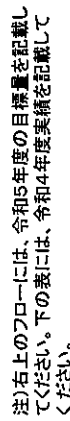


別紙処理口一

事業場名称:味の素エンジニアリング株式会社  
いなば食品株式会社第4新工場建設工事

※本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

※1 自社の他事業 場からの搬入量	t
----------------------	---



項 目	令和4年度実績
① 排出量	0.06 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩ 全処理委託量	0.06 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.06 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

【産業廃棄物の種類(ア～ド)】

7. 燃え殻、イ. 汚泥、ロ. 廃油、ハ. 廃酸、ニ. 管理型建設適合廃棄物、ク. 木くず、ケ. 繊維くず、コ. 鉄さい、カ. ねえさい、キ. コンクリートがら
- ユ. 動植物性残さ、ク. アスファルト・コンクリートがら、シ. ゴムくず、チ. 廃石膏ボード、リ. 建設工事の垢くず、7. 建設工事の木くず
- 九. 廃ガラス及び類キ. 紙くず、ス. 金属くず、セ. ガス・コンクリート・陶出器くず、ト. 混合廃棄物その他

カ、庫ブラスチック類キ、紙くず、ス、金属くず、セ、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、ト、混合廃棄物その他の



事業場名称: 味の素エージング株式会社  
いなば食品株式会社  
株式会社金井第1工場  
工場建設工事  
別紙一覽表  
(単位: 円)

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト		合計
																			建設工事の 木くず	建設工事の その他	
① 排出量																					
②+⑥ 自ら再生利用を行った量				73.242	3.22		25.5		748.74	115		49.155	5				9.9	0.06	0.055		1029.872
⑤ 自ら熱回収を行った量				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③+⑤ 自ら埋入処分又は海洋投入処分を行った量				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩ 全処理委託量				73.242	3.22		25.5		748.74	115		49.155	5				9.9	0.06	0.055		1029.872
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量				10.9863	0.805		25.5		748.74	115		49.155	0				9.9	0.06	0.055		960.2013
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
① 当該事業場における排出量				75	4		30		800	120		51	7				11	1	1		1100
※1 自社の他事業場からの搬入量																					
② 自ら直接再生利用する量																					
③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量																					
④ 自ら中間処理する量																					
⑤ ④のうち熱回収を行う量																					
※2 自社の他事業場での処理量																					
⑥ 自ら中間処理後の残さ量																					
⑦ 自ら中間処理により減量する量																					
⑧ ⑧ 自ら中間処理後に再生利用する量																					
⑨ ⑨ 自ら中間処理後に自社の他事業場での処理量																					
※3 自ら中間処理後に自社の他事業場での処理量																					
b ⑧ 自ら中間処理後の処理委託量																					
b-1 ⑧ 自ら中間処理後の処理委託量																					
再生利用前委託量																					
最終処分前委託量																					
下水等放流前委託量																					
b-2 最終処分委託量																					
B 直接処理委託量				75	4		30		800	120		51	7				11	1	1		1100
B-1 ⑧ 自ら中間処理後の処理委託量				75	4		30		800	120		51	7				11	1	1		1100
再生利用前委託量				75	4		30		800	120		51	7				11	1	1		1100
最終処分前委託量				75	4		30		800</												

令和5年度目標